

令和7年度川崎市宮前区市民提案型協働事業審査委員会 摘録 (公開)

日時：令和7年2月18日(火) 14:00～15:10

場所：宮前区役所4階 大会議室(公開)

出席委員：石崎徹委員、人見雅子委員、渡邊早貴委員、小泉幸弘委員

齋藤区長、小出企画課長、小西課長補佐、滋野主任、寺田職員、上中職員

提案団体：アースリングスプロジェクト、推し活 MIYAMAE、Dance Spark Miyamae 実行委員会

公開プレゼンテーション

1 開 会

2 区長挨拶

3 審査委員紹介

4 事務局による概要説明

5 提案事業者によるプレゼンテーション及び質疑応答並びに採点

6 閉 会

公開プレゼンテーション

(小出企画課長)

それでは、定刻となりましたので、令和7年度宮前区市民提案型総合情報発信事業公開プレゼンテーションを始めさせていただきます。本日は、お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。事務局として司会を務めさせていただきます、宮前区役所企画課長の小出と申します。よろしくお願いいたします。開会に当たり、宮前区長の齋藤からご挨拶を申し上げます。

(齋藤区長)

こんにちは。宮前区長の齋藤でございます。本日は、「令和7年度宮前区市民提案型総合情報発信事業」公開プレゼンテーションにご参加いただき、ありがとうございます。

本事業は令和4年度から始まり、4年目を迎えることとなりますが、この間、様々な事業を提案いただき事業化していく中で、区も協力するとともにそれぞれ苦勞もしながら、試行錯誤しながら作り上げてきていただいて、一定の成果を上げてきたものと考えております。宮前区には歴史や文化、豊かな自然、それらをフィールドにして地域のために熱心に活動される区民の方々、そういった豊かな地域資源がございます。その地域資源をこの事業によってうまく発信していけたらと思っております。

川崎市は昨年7月に市制100周年を迎えまして、川崎市の方では川崎市を改めて知って、関わって、好きになってもらうというキャッチフレーズで様々な記念事業を展開してきましたが、宮前区においてもこうした情報発信を通じて、宮前区を知っていただき、様々な事業に参加して関わっていただいて、さらにこの宮前区を好きになっていただくところにつながっていくといいなと思っております。本日はこういった魅力的なプレゼンが出てくるか、私も楽しみにしながら拝見させていただこうと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。これからも、情報発信だけでなく、宮前区のいろいろなところに興味を持っていただいて、さらに関わっていただければということをお願いして、私からの冒頭の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(小出企画課長)

ありがとうございました。続きまして、本日審査をお願いする審査委員を御紹介いたします。専修大学経営学部教授 石崎徹委員、公益財団法人かわさき市民活動センター市民活動推進課事業推進係 人見雅子委員、イツツ・コミュニケーションズ株式会社コミュニケーションデザイン本部メディアコンテンツ部 企画広告チーム 渡邊早貴委員、宮前区役所副区長 小泉幸弘委員、以上の4名でございます。審査委員会の会長は、石崎委員が務めます。

それでは次に、本日の進行などについて御説明させていただきます。本日の公開プレゼンテーションは、令和7年度総合情報発信事業の第2次審査として、事業を実施する団体を選考するために行います。選考の方法は、第1次審査を通過いたしました4提案ございましたが、そのうち1提案については辞退の申し出がありましたので、3提案について、それぞれ発表をしていただき、その後審査委員の皆様による質疑応答を行います。プレゼンテーションや質疑応答の内容、各団体から事前に提出を受けた企画提案書や質問に対する回

答等の書類の内容を、審査委員が総合的に判断した上で、採点し、選考を行います。

本日の選考結果については、すみやかに宮前区長に報告し、それを踏まえ、宮前区役所としての最終決定を行い、予算の範囲内で、2～3 事業を選考することとなっております。最終選考結果は、公開プレゼンテーションに御参加いただいた、すべての団体の皆様に、3 月上旬頃を目途にお知らせさせていただきます。

さて、プレゼンテーションの流れですが、1 事業ごとに提案団体から発表していただきます。1 事業あたりの時間配分は、発表が 8 分間、質疑応答が 10 分となっております。質疑応答終了後に次の団体の発表まで 2 分間ございますので、その間に、次の団体の発表者は発表の準備を、審査委員の方は採点を、よろしくお願いいたします。私の方から団体名を紹介した後にプレゼンテーションを開始してください。各団体の発表と質疑応答の時間については、終了の 1 分前に事務局がベルを 1 回鳴らします。終了時間になりましたらベルを 2 回鳴らしますので、すみやかに発言を終了するよう、御協力をお願いいたします。説明につきましては、前方の「発表」と貼ってある机のところをお願いいたします。事前にお送りいただいたプレゼンテーション用の電子データにつきましては、机に置いてあるパソコンのデスクトップに、提案団体名を付けたフォルダがあり、その中に格納しています。プレゼンテーション開始前の準備の時間にそのフォルダから電子ファイルを開いていただき、プレゼンに使用してください。プレゼンテーションの順番が次の団体は、廊下側の「次発表待機場所」と貼ってある席で待機をお願いいたします。その席にあるパソコンにも、説明用のパソコンと同様に、各団体プレゼンテーション用の電子データが格納されていますので、事前に自分の団体の電子データについて、念のため確認をお願いいたします。他の団体の資料を見ることなどはせず、確認後はパソコンには触らないようにお願いいたします。

最後に 3 つほど、諸注意を申し上げます。この公開プレゼンテーションは、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例に基づき公開で行いますので、傍聴を認めておりますが、傍聴の方につきましては、質問を行う等、発言はできませんので、御了承ください。また、記録、広報及び報道発表の資料といたしまして写真撮影をさせていただきますので、御了承をお願いいたします。なお、お持ちの携帯電話につきましては、マナーモードに設定するか電源を切るようお願いいたします。公開プレゼンテーションの終了予定時刻は 15 時 10 分を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。よろしければ公開プレゼンテーションに入らせていただきます。

【アースリングスプロジェクト】

〈企画提案〉

〈質疑応答〉

（人見委員）

区役所で長い期間展示することだが、例えば子どもが触って曲がってしまうなどの危

陰性はないか。メンテナンスや見守りについて、こういった形で考えているか教えていただきたい。

（提案団体）

区役所内の、主に窓口の前に展示するので、また、高級なものは設置しないようにするので、区役所と相談しながら決めていきたいと考えている。

（人見委員）

ロゴマークについて、宮前区の知的財産として登録・使用できるとのことだが、アート系の事業を行う際は他の方も使えるということか。

（提案団体）

そのとおりである。宮前区が行う「つながる美術館」というテーマに類するようなイベントを行うときには使えるということ、事前に募集段階で許諾を得るような注意書きをしておき、長く使っていただけるようなものにしていきたいと考えている。

（渡邊委員）

実際に区民の方がアートに触れることができるという点と、自分の作品を表に出す場が作られる点が素敵だと思ったが、子どもの想像力を育むという点で、もう少し参加型にしてもよいのではないかという印象がある。例えばスタンプラリーも、そろえたらポストカードがもらえるというのも魅力的だが、例えば子どもが好きにスタンプを押し、それ自体が作品になる、自分だけのポストカードになるといった取組があると、親子も区役所に遊びに行こうかな、アートに触れようかな、といった機会になると思う。ワークショップなども行うとのことだが、親子向けに考えている企画があれば教えていただきたい。

（提案団体）

スタンプラリーのアイデアはありがとうございます。ワークショップは親子向けを考えているが、一方で、つながるみんなのアート展では、小学校や都内の子どもたちにも参加を呼び掛けたい。学校や病院、NPO などいろいろなところに働きかけ、自由な作品を描いていただくことになるので、おもしろい美術館ができるのではと考えている。

（小泉委員）

区役所を美術館と見立てて作品の提供の場とするということで、非常に斬新な取組と感じた。事務局に確認だが、区役所で美術展を行うことについては、先ほど高価なものは置かないとのことだったが、管理上問題はないということでよいか。

（事務局）

問題ないと確認している。

（小泉委員）

その視点で、今回御提案いただいたのは区役所内での展示ということだが、宮前区は他の区役所と違って市民館・図書館が近接にあるので、そういったところでも展開できればと思った。この提案はアートで取組をされている人の発表の場の提供と、そこからの人とのつながりという面もあると思うので、より多くの発表の場ということであれば、市民館・図書館との連携というのも考えてもらえると良い。また、インクルーシブの視点から、障害者の方々の作品の展示についても現時点で計画に入っているかお聞かせいただきたい。

（提案団体）

宮前区の中には、アートを元々作っている障害の方の施設があるので、そちらとすでにつながりがあるので、働きかけて一緒に用意していただきたいと考えている。また、図書館について、我々もどこをどこまで使わせてもらえるか分からない部分もあるので、御提案いただいたところを前向きに一緒に探していけたらと考えている。

（石崎委員）

夏休みに子ども向けのワークショップを行うとのことだが、想定しているメディアだと子どもに届きづらいように感じる。例えば区役所と連動して、区内の小学校に何らかの形で情報発信をするなど、意外と子どもたちには紙のチラシなどの方が効いたりするので、そのあたりのアイデアを聞かせていただきたい。

（提案団体）

作ったチラシを区役所に置くだけではなかなか届かないと思うので、区内の小学校に配るなどのルートがあるのなら、ぜひ積極的に活用させていただきたい。

〈採点〉

【推し活 MIYAMAE】

〈企画提案〉

〈質疑応答〉

（人見委員）

冊子とイベントを両方実施するとのことだが、その関係性について教えていただきたい。

（提案団体）

イベントは冊子と直接関係しないが、現時点ではホームページに掲載するなどの連携を考えている。

（人見委員）

イベントの内容はどのようなものか。

（提案団体）

資料記載のとおり。

（人見委員）

今まで行っていたものを引き続き実施していくということか。

（提案団体）

プラスアルファも考えているが、まだ検討中である。

（渡邊委員）

住民の目線での情報発信ということで、魅力的でありおもしろいネタがそろいそうで、個人的にもいろいろな情報を知りたいというところでもあるが、続けていかないともったいない。継続していくことで強みとなると思うが、費用の部分で、ウェブサイトの運営はも

っとかかるのではないかと感じる。収入と費用のバランスなど、継続するにあたっての収支計画などがあれば教えていただきたい。

（提案団体）

金額は当初から問題にはなっており、メンバーの労務費がほぼボランティア扱いになるような計算になっている。ホームページは当初は Google サイトを使うので、最初はコストを押さえて、仮に 2 年目も続けていけるなら、セキュリティを強化したいと考えている。

（渡邊委員）

支出の面で不安な点があるようであれば、しっかりしたウェブサイトには固執せず、SNS に力を入れるのも良い。事前質問回答の中で、リアルイベントで収入を得られればとあるが、実際にイベントを実施するとトントンになってしまったりもするので、そのあたりも含めて、新しい収益の獲得の仕方など検討しながら運営していただければと思う。

（小泉委員）

ホームページで情報発信をしていくとのことだが、今は SNS で積極的に情報を出していくのがツールとして重宝されていると思う。子育て世帯、特に転入者をターゲットにという視点があると思うが、若い世代へのアプローチはどのように考えているか。

（提案団体）

冊子に QR コードを載せて動画を見られるようにしたいと考えている。子育て世帯向けの情報について、区役所も行っているピアッツァなども会員が増えているので、注力したい。

（小泉委員）

民間だと、よく Z 世代をいかに取り込むかという話があり、彼らの情報発信力は市場としても非常に有効だという話もあるので、子育て世帯や若い世代、情報発信を得意とする世代をうまく巻き込んで事業展開していくとより多くの方々に情報を届けられると思うので、工夫していただけたらと思う。

（提案団体）

承知した。私も現在ほぼ毎日宮前区の情報発信を行っている。やはり、新しいものができる、閉店するといった変化が激しいことに対する注目度が高いので、ホームページに出した情報をすぐに SNS で発表、拡散する方向でアプローチしていきたい。

（石崎委員）

冊子に子育て世帯の情報をかなり盛り込むとのことだが、ターゲットにどう配布していくのか。

（提案団体）

転入者に区役所から配布をお願いしたいと考えている。ぐるっとみやまも同じ形で配布していると聞いている。

〈採点〉

【Dance Spark Miyamae 実行委員会】

〈企画提案〉

〈質疑応答〉

（小泉委員）

KADOKAWA DREAMS を呼ぶとのことで、非常に人気のあるプロダンスチームだと思うが、警備はどのような形で考えているか。

（提案団体）

予算の問題もあるので、警備はボランティアによる形を考えている。さくら祭りも多くのボランティアが集まるので、商店街も含めてそのネットワークに協力いただく。

（小泉委員）

全国から注目されるようなグループなので、警備の問題は出ると思う。また、宮前区は駅に近い公共的な空間がないという面があるが、仮に駅の近くで場所があっても、山坂の多い地形なので車で来る人が多く想定され、交通渋滞や駐車場問題が発生すると思われる。候補として2か所の会場を想定しているとのことだが、どう考えているか。

（提案団体）

さくら祭りの場合、車での来場はお断りしている。これをどの段階、レベルで伝えられるかが問題だと思うが、基本は SNS と保護者へのアナウンスしかないと考えている。表立っては SNS によるが、出演団体の保護者向けにもアナウンスを行う。

（渡邊委員）

屋外で行う魅力はあると思うが、近年は命に関わるくらいの暑さになる。屋内での実施は検討しているか。

（提案団体）

屋内は考えていない。イベント業者にも相談したが、対策としては、テント、ミスト、冷風機などあらゆるものを使うほか、出演時間をあまり長くしないという対策しかないとのことだった。暑さは一番の懸念ではあるが、屋内での実施だと全く趣旨が異なってしまうので、屋外で実施できないなら開催しないつもりである。

（渡邊委員）

夕方でも暑かったりするので、時間帯やタイミング、休憩を多く入れるなどするしかないか。

（提案団体）

今のところ、日中の遅い時間帯での開催とし、時間は3時間程度、各団体出演したら待機所へ戻る形とし、最終的には全員ステージに出るが、全員がその場にいる形は避けようと考えている。また、大型テントやミストのほか、飲み物の販売も行いたいと考えていたが、カップーク鷺沼では販売が難しいようである。宮崎第一公園であれば販売も可能と思われるので、悩んでいるところ。

（渡邊委員）

日頃からダンスに接している子ども向けの企画という印象だが、せっかく曲を作るのであれば、ダンスをやっていない子どもも興味を持ってもらえるよう、小学校に教えにいくとか、いずれ地域の子どもは皆が踊れるようになるようにしていくと良いと感じたが、何か

考えはあるか。

（提案団体）

そのようにできると良い。拡散具合にもよるが、参加型でできると良いかもしれない。例えば難しい振付を作らなければその場で踊ることも可能だが、最終的に映像におさめるのであれば、しっかり踊れている子どもたちが踊る方が良いと思う。検討したい。せっかくなので、来た子どもたちが一緒に踊れるような空間を作りたいと思う。

（人見委員）

区と一緒に実施するという意味で、そういった要素があると良いと感じた。練習して成果を見せることに加え、来た子どもがコーラスだけなどでも簡単なところだけ参加して、楽しかったから次はダンススクールに入ろうといった流れができるとより良いと思う。

（石崎委員）

同感である。ある程度踊れるようになるまで少しハードルはあるか。

（提案団体）

そのとおり。だが、出演者が踊る部分と皆で踊る部分を分けたり、ティーチングの時間、例えば KADOKAWADREAMS のメンバーが皆に教える時間などを設けたりすれば、できるかもしれない。

（石崎委員）

事前質問にも挙げたが、熱中症対策に加え、天候に非常に左右されるイベントであると感じる。準備までして中止となるともったいないが、そのあたりはどうか。

（提案団体）

次週開催ができるのであればやりたい。そのためには、業者と場所、出演者のキープが必要となる。出演者の子どもたちは、出たいという思いが強いので、出演者の方は次週開催の形でできると思うが、業者に対してのキャンセル料や、キャンセルのタイミングなどは課題である。当日設営とし、前日仕込みはないようにしたいと考えているので、予算はそのままで次週に持ち越しができると理想的である。

〈採点〉

（小出企画課長）

以上で、公開プレゼンテーションを終了します。冒頭にも申し上げましたとおり、本日の選考結果については、すみやかに宮前区長に報告し、それを踏まえ、宮前区役所として最終決定いたします。最終選考結果は、公開プレゼンテーションに御参加いただいた、すべての団体の皆様に、3月上旬頃を目途にお知らせさせていただきます。

なお、審査委員の皆様は、採点終了後、15時25分までに第3会議室にお移りいただき、引き続き審査をお願いいたします。採点が終わりましたら審査表を事務局が回収いたしますので、担当職員にお渡しください。

以上